満員

生成AI活用によるプロジェクトリスクマネジメント実践講座【オンラインライブ】(4126236)

本講座では、生成AIを単なるツールではなく「PMの思考パートナー」として活用し、リスクの抜け漏れを防ぎ、意思決定の精度とスピードを飛躍的に高める手法を習得していただきます。演習では、実際の失敗事例をベースにした「50年来のレガシー移行プロジェクト」を題材に、受講者自らがAIを駆使してプロジェクトを立て直す実践トレーニングを行います。

開催日時	2026年9月29日(火) 9:00-16:00ライブ配信
JUAS研修分類	プロジェクトマネジメント(プロジェクトマネジメント)、データ・AI活用・技術動向(AI・新技術　検証)
カテゴリー	IS戦略実行マネジメント・プロジェクトマネジメント 専門スキル
DXリテラシー	What(DXで活用されるデータ・技術)：デジタル技術
講師	中谷英雄 氏 （株式会社ピーエム・アラインメント 取締役　ビジネスコンサルティング部長 ） PMI認定PMP 2013年 米国PMI最優秀教育プロバイダー認定 スクラムアライアンス認定スクラムマスター（CSM） プロダクトオーナー（CSPO） ＜略歴＞ １．BIPROGY（旧：日本ユニバック）（１９８３年～） ２．三井住友信託銀行（旧：三井信託銀行）（１９９０年～） ３．ピーエム・アラインメント（２００６年～現職） ・主に金融ＩＴ大規模プロジェクトのPMO支援に従事。 ・その後大学院でデザインマネジメントを学び、社会課題の解決、金融商品の開発等でデザイン、アート、顧客体験等を活用。 ・現在、新事業創出、デザイン戦略、イノベーションとDX推進に関わる諸テーマを中心に、コンサルティング活動、教育活動を展開している。 ＜研究会活動＞ ・組織のダイナミズム研究会（ODSG）会員 ・震災復興関連のNPO向けに、イノベーションプロセスの活用支援展開中 ＜PM関連書籍著＞ 監修 PMI 日本支部 「PMツールの実践的活用」プロジェクト 翻訳メンバー PMIプログラムマネジメント標準 第2版
参加費	JUAS会員企業/ITC：35,200円 一般：45,100円（１名様あたり　消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信（指定会場はありません）
対象	・事業会社 IT 部門マネージャー、リーダー、PM ・ベンダーコントロール担当者 ・プロジェクトマネジメントの経験があり、リスクマネジメントの進め方に問題意識をお持ちの方 ・生成 AI を活用したことがある方 中級
開催形式	講義・個人演習
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
特記	◆受講環境のお願い ※生成 AI を使った演習を実施します。 スペック等の指定はありませんが、以下のソフトウェアを使用します。 －Excel、Wordがインストールされていること －生成 AI(Copilot, ChatGPT, Gemini, Claude のいずれか)が利用可能であること
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態
ライブ配信（Zoomミーティング）【セミナーのオンライン受講について 】
■テキスト
開催７日前を目途にマイページ掲載
■開催日までの課題事項
受講環境のお願い
※生成AIを使った演習を実施します。
スペック等の指定はありませんが、以下のソフトウェアを使用します。
－Excel、Wordがインストールされていること
－生成AI(Copilot, ChatGPT, Gemini, Claude のいずれか)が利用可能であること

生成AI活用によるプロジェクトリスクマネジメント実践講座
～レガシー移行プロジェクトを成功に導く意思決定力強化～

☒　本講座では、生成AIを単なるツールではなく「PMの思考パートナー」として活用し、リスクの抜け漏れを防ぎ、意思決定の精度とスピードを飛躍的に高める手法を習得していただきます。演習では、実際の失敗事例をベースにした「50年来のレガシー移行プロジェクト」を題材に、受講者自らがAIを駆使してプロジェクトを立て直す実践トレーニングを行います。

◆趣旨
本講座は、事業会社IT部門が直面している最大の課題である「意思決定の遅れ」と「判断ミスによるプロジェクト失敗」を根本から解決することを目的としています。多くの現場では、進捗管理やドキュメント作成といった事務作業に追われ、本来最も重要であるはずの「リスクの見抜き」と「意思決定」が後回しになっています。その結果、気づいたときには手遅れとなり、プロジェクトは炎上へと向かってしまいます。

生成AIの活用は進んでいますが、その多くは個人レベルの効率化に留まっています。現実には、レガシー移行のような高難度プロジェクトにおいて、見積の甘さ、ベンダー任せの判断、リスクの見落としが引き金となり、数億円規模の損失につながるケースが後を絶ちません。「安さ」で選んだ意思決定が、後戻りできない失敗を招く――こうした事態は決して他人事ではありません。

本講座では、生成AIを単なるツールではなく「PMの思考パートナー」として活用し、リスクの抜け漏れを防ぎ、意思決定の精度とスピードを飛躍的に高める手法を習得していただきます。演習では、実際の失敗事例をベースにした「50年来のレガシー移行プロジェクト」を題材に、受講者自らがAIを駆使してプロジェクトを立て直す実践トレーニングを行います。本講座を通じて得られるのは、単なるAI活用スキルではありません。「その意思決定で本当に大丈夫か？」を見抜く力――すなわち、プロジェクトの成否を分ける“判断力”そのものです。

◆主な内容
【導入】生成AI×PMの進化AI＝思考パートナーの再定義
【基礎】リスクマネジメント再定義 「見つける→判断する」へ
【AI活用１】リスク特定高度化 抜け漏れゼロ化
【演習１】ケース理解 B.PDF ケース分析
【演習２】AIリスク抽出 隠れリスク特定
【演習３】リスク評価・意思決定 優先順位判断
【演習４】対応策設計 戦略オプション比較
【まとめ】現場適用 自社適用計画
※多少変更となることがあります。

◆演習概要
本演習では、50年来運用されてきた基幹人事システムの刷新プロジェクトを題材とします。
本プロジェクトは、老朽化したシステムの維持コスト増大や人材不足といった課題を背景に立ち上げられましたが、限られた予算の中でベンダー選定が行われた結果、最も低価格を提示したベンダーが採用されました。

しかし、その見積には開発難易度や移行リスクが十分に織り込まれておらず、プロジェクト開始後に要件の複雑さや既存データの不整合が顕在化し、進捗遅延や品質問題が発生します。さらに、ベンダー側の体制不足や見積前提の甘さが露呈し、最終的には契約解除に至るという深刻な事態に発展します。
受講者はこの状況を前提に、プロジェクト初期段階において見抜くべきだったリスクは何か、どの時点でどのような意思決定を行うべきだったのかを検討します。

さらに、生成AIを活用してリスクの網羅的抽出、影響度・発生確率の評価、対応策の立案を行い、複数の意思決定シナリオを比較検討します。
本演習を通じて、受講者は「なぜ失敗したのか」を理解するだけでなく、「どうすれば防げたのか」を構造的に捉え、実務に直結するリスクマネジメント力と意思決定力を習得します。

◆研修を通じて得られるスキル
１．リスクの構造的抽出スキル
プロジェクトに潜在するリスクを、経験や勘に頼らず、体系的に洗い出す力を習得します。
生成AIを活用することで、見落としがちな「隠れリスク」や過去事例に基づくリスクも網羅的に抽出できるようになります。

２．リスク評価・優先順位付けスキル
抽出したリスクを「影響度×発生確率」で定量的に評価し、対応すべき優先順位を明確にする力を身につけます。
さらに、生成AIを活用して評価の妥当性を検証し、判断のブレやバイアスを抑えるスキルを習得します。

３． 意思決定シナリオ設計スキル
複数の対応策（回避・軽減・転嫁・受容）を設計し、それぞれのメリット・デメリットを比較しながら最適な意思決定を導く力を養います。

生成 AI を活用し、複数の将来シナリオを可視化することで、より精度の高い判断が可能になります。

４．ベンダーコントロール強化スキル
見積の妥当性や進捗報告の信頼性を見抜き、ベンダー任せにしないマネジメント力を習得します。
生成AIを活用することで、隠れたリスクや不整合を早期に発見し、主体的にプロジェクトをコントロールできるようになります。

５．生成AIを活用したPM実務スキル
生成AIを単なる効率化ツールではなく、「思考パートナー」として活用する実践スキルを習得します。
リスク抽出、評価、対応策立案、意思決定支援まで一貫して活用することで、プロジェクトマネジメントの質とスピードを飛躍的に向上させることができます。

◆受講環境のお願い
※生成AIを使った演習を実施します。
スペック等の指定はありませんが、以下のソフトウェアを使用します。
－Excel、Wordがインストールされていること
－生成AI(Copilot, ChatGPT, Gemini, Claude のいずれか)が利用可能であること